

2025.12

秋田県暴追センター

Joho

No 271

発 行

(公財) 秋田県暴力追放運動推進センター (旧 暴力団壊滅秋田県民会議)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

連日、特殊詐欺被害が報道されています。要・要注意です、他人事ではありません。インターネット、電話だけのやりとりしかない相手を信用して、現金等を渡したり、暗号資産に変えるなどの行為はどうでしょうか。よく考えて下さい。騙されています。投資、ニセ警察官、恋愛感情、その他全てにおいて現金類を手放す行為は危険です。普段、大事に保管している現金類を手放さないでください。その行為に、保証、担保はつきません。暴力団の中には、匿名・流動型犯罪グループを実質的に傘下にして資金が流れる例が認められます。※要注意です。

## 公益財団法人 秋田県暴力追放運動推進センター

### ◎指定暴力団傘下組員が逮捕～特殊詐欺の受け子・出し子少年20人が摘発～12月3日配信

- 1 キャッシュカード詐欺盗～区役所職員を装い「キャッシュカードの交換が必要」と嘘を言って現金50万円を騙し取ったなどとして、特殊詐欺の受け子・出し子グループのトップで暴力団組員の男2人が警視庁に逮捕されています。グループでは少年20人が受け子などをしていたとして既に摘発されています。
- キャッシュカード詐欺盗の手口としては
- ・公務員(警察官・市町村役所等)名乗る者から「キャッシュカードが不正に利用されており、自宅を訪問したい」などと電話等で申し出する。

・手続きのためとして、封筒にキャッシュカードと暗証番号を書いた紙を入れさせて、「割印が必要なので印鑑を持ってきてほしい」などと言ってその場から離れさせる。

・印鑑を取りに戻る間に、本物のキャッシュカードが入った封筒と偽物のキャッシュカードが入った封筒をすり替える。

・印鑑で封筒に割印をし「保管しておいて下さい」といって偽のキャッシュカードの入った封筒を渡す。

#### ■キャッシュカード詐欺盗対策のポイント

- ・公務員や金融機関職員が自宅を訪問し、キャッシュカードの提出を求めたり、暗証番号を聞いたりすることはありません。落ち着いて対応して下さい。
- ・「キャッシュカードを他人に渡さない」「暗証番号を教えない」ということを確実に守り、不審な電話は

すぐに警察へ通報(相談)してください。

#### ○預貯金詐欺の手口としては(キャッシュカード詐欺と類似)

- ・市町村職員や金融機関職員、警察官等を名乗り、キャッシュカードの確認や取り替えの必要があるなどの口実で自宅を訪問し、キャッシュカードを騙し取る詐欺です。
- ・市町村職員と偽って電話をかけた場合～「払い過ぎた医療費の還付金がある」「還付金は口座へ振り込むが、あなたの口座は古いため振り込めない」「還付金を振り込むため、今すぐキャッシュカードを作り直さなければならない」などと話して嘘の説明をする。
- ・警察官と偽って電話をかけた場合～「詐欺の犯人を逮捕したら、あなたの個人情報を知っていた」「個人情報を悪用されて、預金が不正に引き出された」「被害に遭わないように、今すぐキャッシュカードを預かる」などと話して嘘の説明をする。

#### ■預貯金詐欺対策のポイント～キャッシュカード、通帳を預かったり、回収することはありませんし「他人に渡さない」「暗証番号を教えない」を確実に守り、不審電話は、すぐに警察へ通報(相談)して下さい。